

績に関する国立大学法人評価委員会のヒアリングについて、報告があった。

- (2) 平成 22 年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
 - 総務機構長より、平成 22 年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について、【資料 7】に基づき報告があった。
- (3) 競争的資金等の受入状況について
 - 国際・研究機構長より、競争的資金等の受け入れについて、【資料 8】に基づき報告があった。
- (4) 平成 24 年度概算要求の経過について
 - 総務機構長より、平成 24 年度概算要求の経過について、【資料 9】に基づき報告があった。
- (5) 被災学生支援について
 - 教育機構長より、被災学生支援について、【資料 10】に基づき報告があった。
- (6) 就職内定状況について
 - 教育機構長より、就職内定状況について、【資料 11】に基づき報告があった。

■学外委員からの主な意見は以下のとおり。

○資金運用計画について

- ・運営費交付金と寄付金の資金運用について、別の運用資金として考えなければいけないのではないのか。
- ・資金運用に関しての責任体制を明確にしておく必要があるのではないのか。

対応

- ・資金運用委員会を設置しているが、見直しを行い責任体制を明確にする。

○自己点検・評価について

- ・大学の全学的評価については、大学全体の組織として評価項目を部局の評価とは違う観点で評価することになるのではないのか。

対応

- ・全学的な評価の項目、財務、基盤整備、管理運営などまた、評価の細かな項目についても本部と部局によって違う観点で行っている。

○女性リーダー育成について

- ・お茶大メソッドとして、社会的評価の際にどのように反映していくのか理論構築を考えて欲しい。

対応

- ・大学として理論構築に向けての情報の集積を行っているが、今後アピールできる理論構築をしたい。

○インターンシップについて

- ・企業を知ることは、就職の際にも良い判断情報になるのではないか、施策はどのように行っているのか。

対応

- ・理系のインターンシップの機会は多くあるが、今後とも分野を増やしていきたい。

○卒業生等の外部支援ネットワークについて

- ・卒業生等を大学が支援し、生涯にわたってエンカレッジするシステムを構築することが良いのではないか。
- ・卒業生のネットワークも大変重要であるが、保護者もある程度ネットワーク化していくと効果的ではないか。

対応

- ・キャリア支援での協力を依頼できるデータベースなどは作成しているが、卒業生ネットワークの構築は長年の懸案であり、早期に実現したい。

○学長より、次回以降の開催予定について、【資料 12】に基づき説明があり、次回開催は、平成 24 年 1 月 24 日（火）15 時からであることを確認した。

以 上